

登山・登攀の記録

ヨセミテ国立公園(アメリカ) エルキャピタン タンジェリントリップ 5.9 A2+ 18ピッチ

日時:1998年7月

メンバー:富澤隆一郎(単独)

概要:大学4年生時の7月の1ヶ月間、アメリカ・ヨセミテ国立公園に滞在し、エルキャピタンのタンジェリントリップルートで単独で登った。傾斜が強く綺麗なルートで、大部分はカムやフックなどのナチュラルプロテクションで登れるが、変形ピトンを組み合わせて打ったり、ピトンを連打するピッチもあり、総合力が試されるルートだった。単独だったので時間が掛かった。

記録

初日 晴

1ピッチ目は単純なボルトラダーで、2ピッチ目は左上するテラスを左にトラバースした後、フックのかけ換えで右にトラバースする。フォールするとテラスに激突しそうで緊張する。

3ピッチ目は最初の核心であるカムやピトンの効まりにくいフレアーしたクラックで、何回かフォールするが、Z字状の変形ピトンを組み合わせて打ってこえる。3ピッチ目の終了点にロープをフィックスし下降する。

2日目 晴

フィックスロープをユマーリングで上がる。4ピッチ目もカムやピトンの効まりにくいクラックが続く。出だしではまり、かなり時間を消費する。その後巨大ルーフの下を右下に下るようにトラバースし、4ピッチ目の終了点へ。トラバースしているのでクリーニングに苦勞する。そこからロープ2本を連結してフィックスし下降する。

3-4日目 休み。

5日目(1ビバーク目) 曇のち雨

フィックスロープをユマーリングで上がる。5ピッチ目はこのルートの核心で、左上する細いクラックにナイフブレードなどの薄いピトンを連打し進む。最後の方はギアが足りなくなっている。

6ピッチ目はリベットのラダーで間隔が遠い。途中で雨が降り出すが壁がかぶっているので全く濡れず、クライミングには影響しない。6ピッチ目の終了点にポーターレッジを設営してビバークする。

6日目(2ビバーク目) 曇

7ピッチ目は右上する快適なクラックをフリーク

ライムを交えて小さなテラスまで。8ピッチ目はフックのかけ換えで右へトラバースしもろいクラックへ。9ピッチ目の出だしが小さなテラスになっておりここでビバークする。

7日目(3ビバーク目) 曇

9ピッチ目は5.10bの快適なハンドサイズのクラックを上がった後左へハンドトラバースする。10ピッチ目は右上するルーフ状クラック。10ピッチ目の終了点でビバークする。

8日目(4ビバーク目) 曇

11、12ピッチ目を登り、12ピッチ目の終了点でビバークする。

9日目(5ビバーク目) 雨

13、14ピッチ目を登り、ルーフ下の14ピッチ目の終了点でビバークする。途中で雨が降り出すがルーフでちょうど陰になっており濡れないで済む。

10日目(6ビバーク目) 雨

15ピッチ目はルーフを越えてボルトラダーに入るが、ルーフを越えたところからは壁が雨で濡れており進むことができない。しかし雨の合間を縫って15ピッチ目にロープをフィックスして下降し、14ピッチ目の終了点でビバークする。食料がなくなってきたのであせる。

11日目 晴

フィックスロープをユマーリングで上がる。16、17、18ピッチ目はすんなりと抜けることができ、お昼ぐらいに終了点に立つ。その日のうちにイーストレッジを下降し、キャンプ場に戻る。

(記/富澤)